

## ズッキーニ春作の安定生産技術

野菜部 露地野菜チーム TEL:022-383-8124

### 研究の目的

ズッキーニは、ウリ科カボチャ属、ペポカボチャの仲間で未熟な果実を食用とする野菜であり、栽培に関する情報は少ないのが現状です。そこで、露地春作とハウス早熟栽培について、適した品種と栽培技術を検討し、安定生産が可能な技術体系を確立しました。

### 研究成果

ズッキーニ露地春作の播種時期は4月上旬～中旬、ハウス早熟栽培は2月下旬～3月上旬

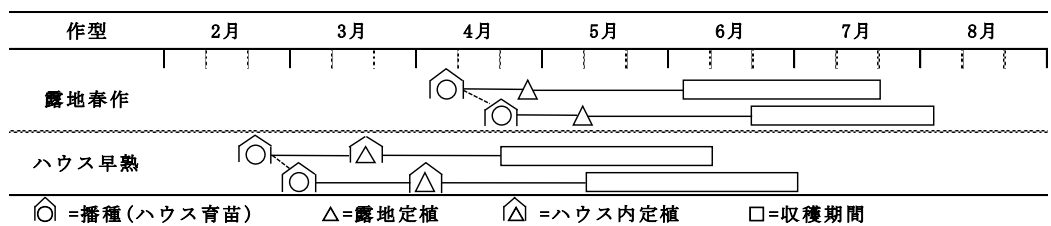


図1 宮城県内におけるズッキーニ春作の作型

で、2～4週間育苗した後に定植します(図1)。いずれも播種時期は低温期のため、トンネル被覆による保温や温床マットでの加温が必要です。

品種は、果実が濃緑色の円筒形、10a当たりの収量が多く、複数のウイルス抵抗性を有する「グリーンボート2号」と「ブラックボー」が適します。品種特性として、「グリーンボート2号」は「ブラックボー」より収穫期間が長く、後半まで収量が安定します。「ブラックボー」は、定植後の生育が早く収穫開始日も早い(図2)。

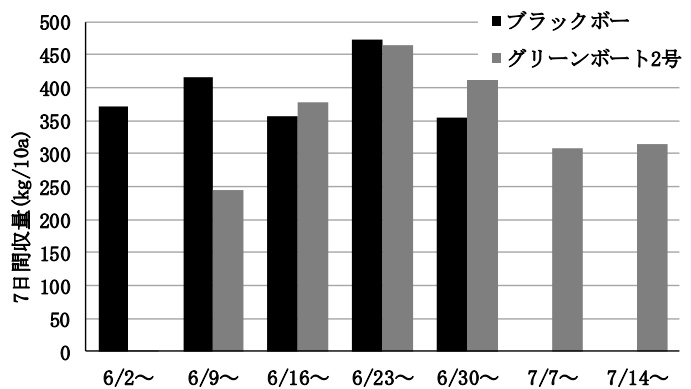


図2 7日間ごとの収量の品種間差(平成30年:栗原市,露地春作)

\*1「ブラックボー」: 播種日 4/13, 定植日 4/30~4/31,

収穫期間: 6/2~7/5(34日間)

\*2「グリーンボート2号」: 播種日 4/13, 定植日 5/6~5/7,

収穫期間: 6/7~7/18(42日間)

### 利活用の留意点等

栽植密度は収量と作業性を考慮し、10a当たり600～770株(畝幅170～190cm, 株間75～90cm, 1条植え)を目安とします。

アブラムシ類, アザミウマ類, うどんこ病等が発生することがあるので, 防除には「ズッキーニ」, 「野菜類」を対象に登録されている農薬を確認の上使用します。

不良果(尻細果, 尻太果等)の発生を避けるためには, 人工受粉もしくはホルモン剤処理を早朝に行うことが必要です。

より詳しい内容は「普及に移す技術」第94号(平成31年4月発行)

「ズッキーニ春作の安定生産技術」をご覧ください。

[http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res\\_center/hukyuu-index.html](http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/hukyuu-index.html)

